

伊調千無念の銀

日本、全階級でメダル

【アテネ二十三日共同】
アテネ五輪第十一日の二十三日、レスリング女子48キログ級の伊調千春(22)

〓中京女大〓は銀メダルを獲得した。
レスリング女子が五輪で実施されるのは今大会が初

めて。日本は全階級でメダルを獲得、金2、銀1、銅1の好成績を挙げた。



レスリング女子48キログ級の表彰式で銀メダルを手にする伊調千春選手(アノリオシア・ホール(共同))

日本勢の先陣を切る役割を果たせなかった。レスリング女子48キログ級決勝。伊調千は同級の世界女王メルニク(ウクライナ)に敗れ、銀色のメダルだった。

もともとは51キログ級。同階級が五輪種目ではないため、階級を下げてアテネを目指した。つらく厳しい減量に耐えた。定評ある防御は、スピードのある小さな相手に対しても完ぺきだった。

五輪でも堅い守りは準決勝まで際立った。課題とされたタックルも積極的に出るようになる。1次リーグはテクニカルフォールとフオールで勝ち進んだ。そして準決勝のベルテネ戦で3分すぎに見せた両足タックルが成長を物語っていた。

しかし「6分間の戦いで弱気になることが一瞬ある」と話していた欠点が一番大事な試合で出てしまった。